

## オートマージュ自動水栓

AM-300 型

AM-301 型

AM-303 型

AM-310 型

AM-311 型

AM-313 型

AM-320 型

AM-321 型

AM-323 型

AM-320H 型

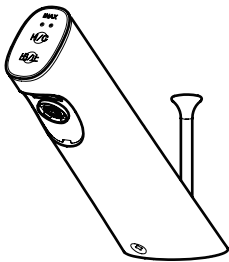
AM-330 型

AM-330H 型

上記の品番は代表品番です。品番の特定は商品の品番シールをご確認ください。  
品番シールの位置は「アフターサービスについて」をご覧ください。

## 取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。  
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくご使用ください。  
お読みになったあともすぐに取り出せる場所に大切に保管してください。



この説明書に記載されている注意事項は、必ず守ってください。

不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

転居される場合、次に入居される方にこの説明書と保証書をお渡しください。

### 工事店様へのお願い

貴店名ならびに据付引渡し日を保証書にご記入のうえ、お客さまに必ずお渡しください。  
また、定期的に交換が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

■ 商品概要 .....	1
■ 安全上のご注意 .....	10

■ ご使用方法 .....	17
■ 凍結のおそれがある場合 .....	20
■ アクエナジーについて .....	21

■ 日常のお手入れ .....	24
■ 定期的なお手入れ .....	26
■ 定期的な部品交換のお願い .....	34

■ 修理を依頼される前に .....	35
■ アフターサービスについて .....	45

仕様 .....	46
保証書 .....	裏表紙

# 商品概要

連続で水が出せる『手動スイッチ』  
(手動スイッチ付 / 手動・湯水切  
替スイッチ付) ⇒ P.19



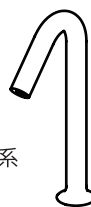



湯と水を簡単に切替できる  
『湯水切替スイッチ』(手動・  
湯水切替スイッチ付)  
⇒ P.19

センサーによる自動吐水  
⇒ P.18

感知距離自動調整機能  
⇒ P.18  
陶器までの距離を自動で感知し、  
感知距離を自動で調整します。

水流パワーによる発電で自動吐水  
(アクエナジータイプ) ⇒ P.21

## 【商品一覧表】

タイプ	品番		電源仕様	スイッチ	ポップアップ	
	単水栓	サーモスタット付				
 AM-300系	AM-300V1 型	AM-300TV1 型	100V	なし	あり	
	AM-300CV1 型	AM-300TCV1 型			なし	なし
	AM-301V1 型	AM-301TV1 型			手動	あり
	AM-301CV1 型	AM-301TCV1 型		なし		
	—	AM-303TV1 型		手動・湯水切替		あり
	—	AM-303TCV1 型			なし	
	AM-300 型	AM-300T 型	アクエナジー	なし	あり	
	AM-300C 型	AM-300TC 型			なし	
 AM-320系   AM-320H系	AM-320V1 型	AM-320TV1 型	100V	なし	あり	
	AM-320CV1 型	AM-320TCV1 型			なし	なし
	AM-321V1 型	AM-321TV1 型			手動	あり
	AM-321CV1 型	AM-321TCV1 型		なし		
	—	AM-323TV1 型		手動・湯水切替		あり
	—	AM-323TCV1 型			なし	
	AM-320 型	AM-320T 型	アクエナジー	なし	あり	
	AM-320C 型	AM-320TC 型			なし	
AM-320HCV1 型	AM-320HTCV1 型	100V	なし			
AM-320HC 型	AM-320HTC 型	アクエナジー	なし			
 AM-310系	AM-310CV1 型	—	100V	なし	なし	
	AM-311V1 型	AM-311TV1 型			手動	あり
	AM-311CV1 型	AM-311TCV1 型		なし		
	—	AM-313TV1 型		手動・湯水切替		あり
	—	AM-313TCV1 型			なし	
 AM-330系   AM-330H系	AM-330CV1 型	AM-330TCV1 型	100V	なし	なし	
	AM-330C 型	AM-330TC 型	アクエナジー			
	AM-330HCV1 型	AM-330HTCV1 型	100V			

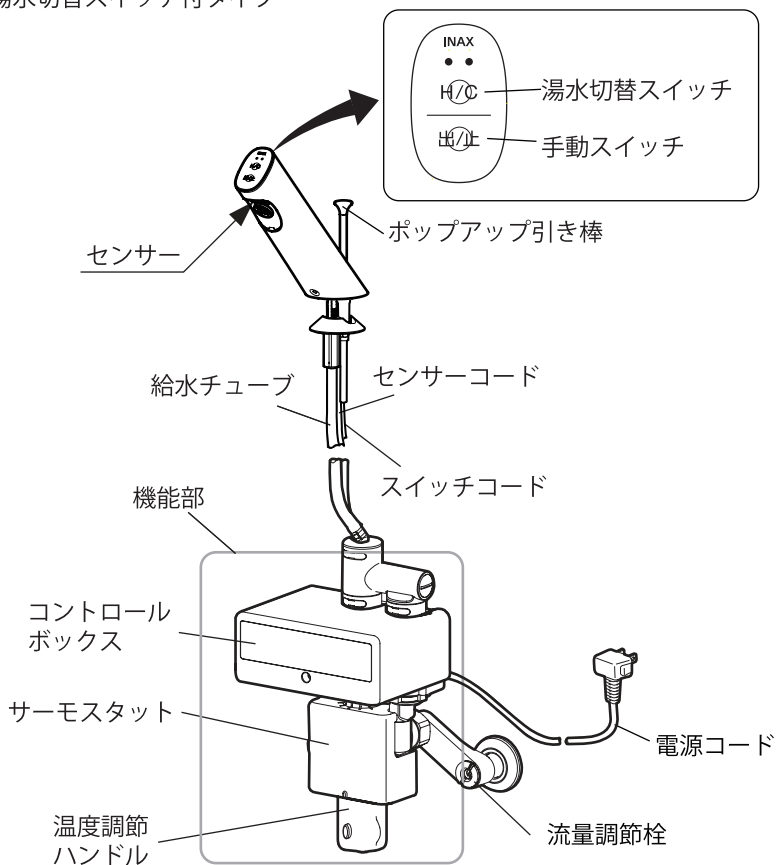
※取替用自動水栓の場合、取り替えた部分以外のご使用方法については、元の取扱説明書をご参照ください。

## こんなときは

湯や水が出ない	電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？	—
	止水栓または流量調節栓が閉まっていますか？	P.37 P.39
	センサー表面が汚れていませんか？	P.24
湯や水の流量が少ない	止水栓または流量調節栓を全開にしていますか？	P.37 P.39
その他お困りごと	「修理を依頼される前に」をご確認ください。	P.35

## 各部の名称

AM-300 系  
湯水切替スイッチ付タイプ

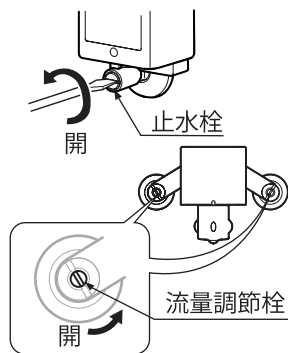


品番によっては図と製品の形状が一部異なります。

## ご使用前に

### ●流量の調整

止水栓または流量調節栓を全開にしてください。  
下の表を目安に流量をご確認ください。



#### 【最適流量の目安】

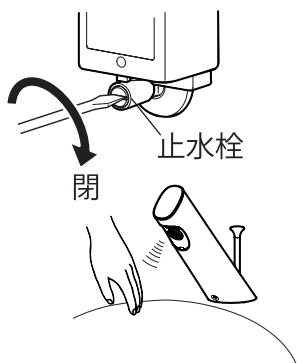
ペットボトル 500 ml をいっぱいにする時間の目安です。

AM-310系		6～9秒
AM-300系	AM-330型	10～15秒
AM-320系	AM-330H型	
AM-320H系		

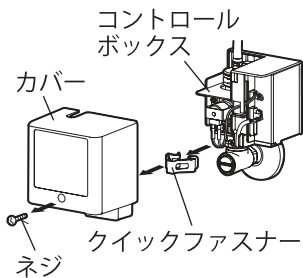
### ●定流量弁の取外し方法

止水栓または流量調節栓を全開にしても流量が不足している場合は、以下の手順に従って定流量弁を取り外してください。

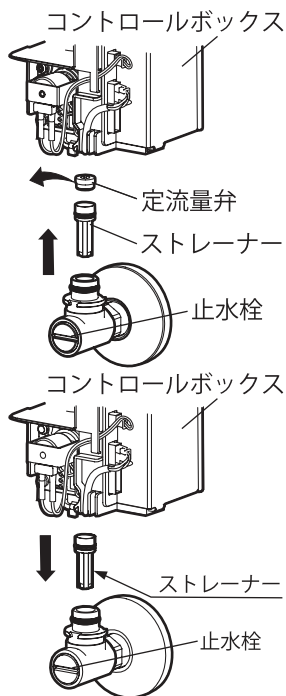
#### 【単水栓の場合】



1. マイナスドライバーなどで止水栓を矢印の方向いっぱいにあわす。センサーに手をかざし、水が止まったことを確認する。



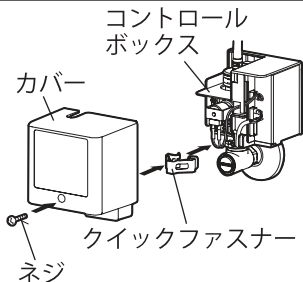
2. プラスドライバーでネジをはずし、コントロールボックスのカバー、クイックファスナーを取り外す。



3. コントロールボックスを上方向へ持ち上げ、ストレーナーと定流量弁を取り外す。

このとき、水が落ちますので、止水栓の下に雑巾などを置いてください。

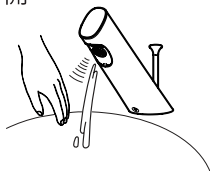
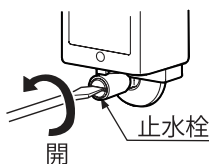
4. ストレーナーから定流量弁を外し、ストレーナーを元の場所に戻す。



5. コントロールボックスを元に戻し、クイックファスナーを取り付け、カバーをかぶせ、ネジを取り付ける。

クイックファスナーが確実に取り付けられていることを確認してください。誤って取り付けると漏水の原因となります。

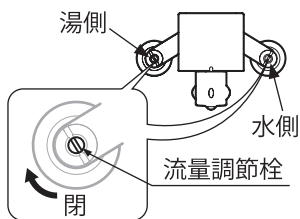




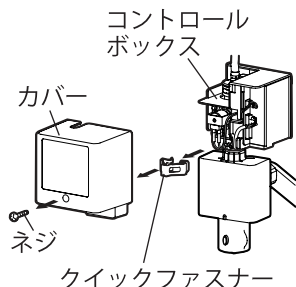
6.【最適流量の目安】(P.5)を参考にセンサーに手をかざして水を出しながら、止水栓で流量を調整する。

7. センサーに手をかざして水を出し、水漏れしている箇所がないか確認する。

【サーモスタット付の場合】

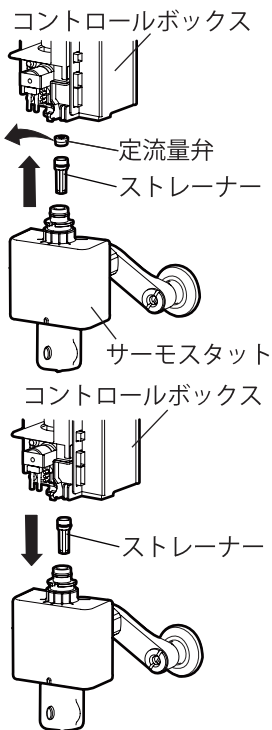


1. マイナスドライバーなどで湯側・水側両方の流量調節栓を矢印の方向いっぱいまわす。センサーに手をかざし、水が止まったことを確認する。



2. プラスドライバーでネジをはずし、コントロールボックスのカバー、クイックファスナーを取り外す。

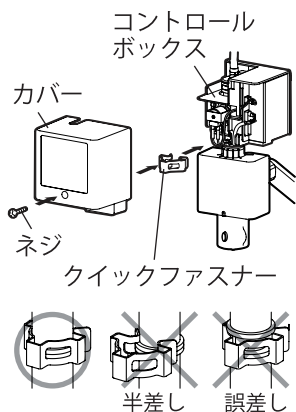




3. コントロールボックスを上方向へ持ち上げ、ストレーナーと定流量弁を取り外す。

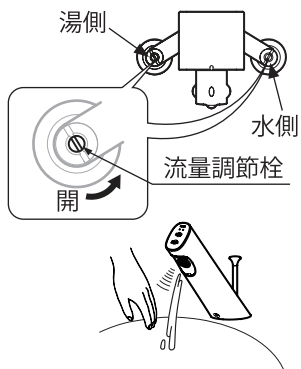
このとき、水が落ちますので、サーモスタットの下に雑巾などを置いてください。

4. ストレーナーから定流量弁を外し、ストレーナーを元の場所に戻す。



5. コントロールボックスを元に戻し、クイックファスナーを取り付け、コントロールボックスのカバーをかぶせ、ネジを取り付ける。

クイックファスナーが確実に取り付けられていることを確認してください。誤って取り付けると漏水の原因となります。












- 6.【最適流量の目安】(P.5)を参考にセンサーに手をかざして水を出しながら、流量調節栓で流量を調整する。
7. センサーに手をかざして水を出し、水漏れしている箇所がないか確認する。

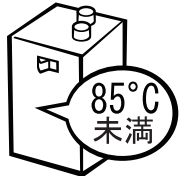
# 安全上のご注意

- ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- ここに示した注意事項は状況により重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、ご使用になる方がいつでも見ることができる場所に必ず保管してください。

## 用語および記号の説明

	「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」
	「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」
	「注意しなさい！」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）
 (禁止)	「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）
 (分解禁止)	「分解してはいけません！」
 (接触禁止)	「指示した場所には触れてはいけません！」
 (指示)	「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）
 (水場禁止)	「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません！」
 (プラグ抜く)	「電源プラグを抜きなさい！」

**⚠ 警告：ヤケドをしないために**

 (禁止)	小さいお子さまだけでのご使用は避けてください。 ※ヤケドやケガをするおそれがあります。	
 (禁止)	<b>【単水栓の場合】</b> 通水温度は 45℃以上にしていただき。 ※水栓が破損し、ヤケドや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。 ※ヤケド防止のため、40℃以下をおすすめします。	
 (禁止)	<b>【サーモスタット付の場合】</b> 給湯器の設定温度は 85℃より高温にしないでください。 ※水栓が破損し、ヤケドや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。 ※ヤケド防止のため、給湯器の設定温度は 60℃をおすすめします。	
 (指示)	ご使用になる前に、必ず素手で適温であることを確認してください。 ※高温の湯が出て、ヤケドをするおそれがあります。	
 (指示)	ストレーナーの掃除をするときは、必ず流量調節栓を閉めてください。 ※湯水が噴き出し、ヤケドや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	
 (指示)	<b>【サーモスタット付の場合】</b> 温度調節ハンドルの表示で湯温を確かめたあと、吐水してください。 ※高温の湯が出て、ヤケドをするおそれがあります。	
 (指示)	サーマスタット混合水栓の温度調節ハンドルは、ゆっくりとまわしてください。 ※高温の湯が出て、ヤケドをするおそれがあります。	
 (指示)	湯水混合水栓の給水圧力は、給湯圧力以上にしてください。 ※高温の湯が出て、ヤケドをするおそれがあります。	給水圧力 ≥ 給湯圧力 

はじめに

**⚠ 警告：発火、感電防止のために**










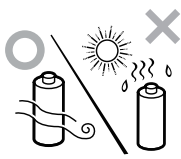
 (分解禁止)	<p>修理技術者以外の方は、絶対に分解したり、修理・改造したりしないでください。                  ※発火、感電、故障、破損の原因となります。                  ※異常動作し、ケガをするおそれがあります。</p>	
 (禁止)	<p>中性洗剤以外は使用しないでください。                  ※電気製品ですので、火災、感電の原因となります。</p>	
 (禁止)	<p>電源プラグや機能部に水をかけないでください。                  ※電気製品ですので、火災、感電の原因となります。</p>	
 (水場禁止)	<p>バスルームなどの水がかかる場所や、表面に水滴を生じるような湿気の高い場所では使用しないでください。                  ※発火、ショート、感電、故障の原因となります。</p>	
 (禁止)	<p>電源プラグを濡れた手で触らないでください。                  ※感電の原因となります。</p>	
 (禁止)	<p>雷が発生しているときは、電源プラグに触らないでください。                  ※感電の原因となります。</p>	
 (禁止)	<p>交流 100 V (50/60Hz) 以外では使用しないでください。                  ※発火、ショート、感電の原因となります。</p>	<p>100V以外</p> 
 (禁止)	<p>タコ足配線はしないでください。                  ※発火の原因となります。</p>	
 (プラグ抜く)	<p>水栓が故障した場合、コンセントから電源プラグまたはACアダプターを抜いて修理を依頼してください。                  ※そのまま使用すると発火、ショート、感電の原因となります。</p>	
 (禁止)	<p>電源コードや電源プラグが痛んだり、コンセントへの差込みが緩んでいたりするときは使用しないでください。                  ※発火、ショート、感電の原因となります。</p>	

⚠ 警告：発火、感電防止のために

 (禁止)	電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重い物をのせたり、挟み込んだりしないでください。 ※電源コードが破損し、発火、ショート、感電の原因となります。	
 (禁止)	コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、重い物をのせたり、挟み込んだりしないでください。 ※コードが破損し、発火、ショート、感電の原因となります。	
 (禁止)	電源コードと他のコードを一緒に束ねないでください。 ※発火、ショート、感電の原因となります。	
 (指示)	電源プラグにホコリがたまらないよう、定期的に電源プラグを抜き、乾いた布でホコリを拭き取ってください。 ※電源プラグにホコリなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。	
 (指示)	電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。 ※発火、ショート、感電の原因となります。	
 (指示)	電源プラグをコンセントに差し込むときは、根元まで十分差し込んでください。 ※発火、ショート、感電の原因となります。	
 (禁止)	異なる種類の乾電池や新旧の乾電池を一緒に使用しないでください。 ※漏液、破裂、発火、発熱、機器の故障の原因となります。	
 (禁止)	乾電池を充電しないでください。 ※漏液、破裂、発火、発熱、機器の故障の原因となります。	
 (禁止)	乾電池を分解・加工・改造しないでください。 ※漏液、破裂、発火、発熱、機器の故障の原因となります。	





はじめに

**⚠ 警告：発火、感電防止のために**




 (禁止)	<p>乾電池を水の中に入れてください。                  ※漏液、破裂、発火、発熱、機器の故障の原因となります。</p>	
 (禁止)	<p>乾電池を加熱したり、火の中に投げ入れないでください。                  ※漏液、破裂、発火、発熱、機器の故障の原因となります。</p>	
 (禁止)	<p>乾電池を強制放電しないでください。                  ※漏液、破裂、発火、発熱、機器の故障の原因となります。</p>	
 (指示)	<p>乾電池の液が漏れたときは液をきれいに拭き取ってください。万一、液が体についたときは、水でよく洗い流してください。漏液した乾電池は使用しないでください。                  ※漏れた液が残っていると、故障の原因となります。</p>	
 (指示)	<p>乾電池を機器に使用するまでの間、または機器から取り外して保管するときなどは、風通しが良く乾燥した、あまり温度の上がない場所に保管してください。                  ※湿度が高いと乾電池に露（水分）がつき、ショートすることがあります。また、高温下に長い間放置されると性能が低下します。</p>	

はじめに

**⚠ 注意：正しくご使用いただくために**

 (禁止)	<p>水道水および飲用可能な井戸水以外は使用しないでください。                  ※商品の内部腐食により、漏水、発火、ショート、感電の原因となります。                  ※飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水をいいます。</p>	
 (禁止)	<p>衝撃を与えたり、もたれかかったりしないでください。                  ※破損してケガをしたり、漏水、故障の原因となります。</p>	


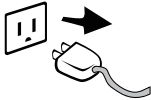


▲ 注意：正しくご使用いただくために

 (禁止)	<p>吐水口先端に重い物を下げたり、力をかけたりしないでください。                  ※摩耗・変形などで部品の寿命が短くなり、漏水の原因となります。</p>	
 (禁止)	<p>水の出口をふさいだ状態で使用しないでください。                  ※吐水口部から水が浸入し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれや、機器の故障の原因となります。</p>	
 (禁止)	<p>オーバーフロー穴のないタイプの手洗器・洗面器と組み合わせる場合、あふれ防止のため吐水中はその場を離れないでください。                  ※漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	
 (指示)	<p>直射日光の当たる場所では使用しないでください。                  ※誤作動により、予期せぬ事故の原因となります。</p>	
 (指示)	<p>感知範囲内に障害物が入らないようにしてください。                  ※誤作動により、予期せぬ事故の原因となります。</p>	
 (指示)	<p><b>【サーモスタット付の場合】</b>                  月1回は、温度調節ハンドルをまわしてください。                  ※温度調節ハンドルを長期間まわさずに使用すると、サーモスタットに水アカなどが付着し、温度調節機能が損なわれるおそれがあります。</p>	
 (指示)	<p>めっきのハガレはそのまま放置せずに、修理依頼をしてください。                  ※はがれためっきやキズでケガをするおそれがあります。修理依頼は取付店（または販売店）またはLIXIL 修理受付センターへご連絡ください。</p>	<p>ハガレ</p> 
 (プラグ抜く)	<p>長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。                  ※誤作動や故障などによる予期しない事故の原因となります。</p>	


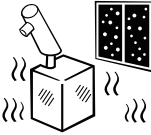


はじめに



**⚠ 注意：正しくご使用いただくために**

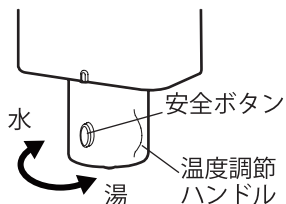
 <p>(プラグ抜く)</p>	<p>雷予報が出たときは、雷が発生する前に電源プラグをコンセントから抜いてください。 ※雷の影響により故障の原因となります。 ※雷が発生しているときは、電源プラグに触らないでください。感電の原因となります。</p>	
 <p>(指示)</p>	<p>定期的にごタツキがないか確認してください。 ※部品破損によりヤケドやケガをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	

**⚠ 注意：凍結防止のために**

 <p>(指示)</p>	<p>凍結のおそれがあるときは、凍結予防を確実に実施してください。 ※変形したり故障したりして、漏水の原因となります。 ※凍結による破損は保証期間内であっても有料修理となります。</p>	
 <p>(指示)</p>	<p>凍結のおそれがあるときは、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。 ※水栓が凍結すると部品が破損し、漏水の原因となります。配管部などに保温材を巻いてください。 ※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。</p>	

# ご使用方法

## 温度の調節



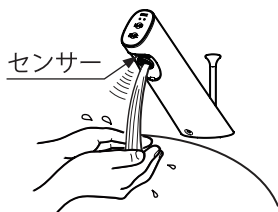
### 【サーモスタット付の場合】

サーモスタットの温度調節ハンドルを図のようにまわすことで温度調節ができます。安全ボタンにより「40」の表示でハンドルが止まります。40°C以上の湯を出したいときは、安全ボタンを押しながらハンドルをまわしてください。

給水温度は季節を通じて一定ではありません。この温度変化によりハンドルの位置と吐水温度が合わなくなることがあります。一年を通して快適にご使用いただくために、給湯器の設定温度を「夏は低め」「冬は高め」に設定することをおすすめします。

## 水を出す・止める

### ●センサーで水を出す



吐水口の下に手を差し出すとセンサーが感知し水（湯）が出ます。手を引くと1～2秒後に止まります。

1分間出し続けると自動的に水（湯）が止まります。

再び水（湯）を出したいときは、一度手を引き、再び手を差し出してください。

センサーは、赤外線透過してしまうガラス・プラスチック製品などを感知しません。また、ステンレス製品、めっきを施したもの、黒に近い色のものは、感知しなかったり、感知距離が短くなったりします。手動スイッチをご使用いただくか、感知範囲内に手をかざしてご使用ください。

センサーに付着した汚れによる誤感知を防ぐために、センサーに手が触れるような至近距離では感知しない仕様です。水が出ないときは、センサーから少し離れた位置に手を差し出してください。

### 感知距離自動調整

センサーが水栓陶器間の距離を感知し、感知距離を自動で調整します。陶器と水栓の間に物が置かれていると、調整が正常に行われません。感知距離が短いと感じた場合『感知距離の再調整方法』(P.42)を参照いただき、再調整をしてください。

## ●スイッチで水を出す

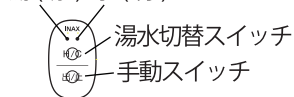


【手動スイッチ付の場合】

手動スイッチを押すと水（湯）が出ます。もう一度押すと止まります。

1分間出し続けると自動的に水（湯）が止まります。

湯（赤） 水（青）



【湯水切替スイッチ付の場合】

湯水切替スイッチを押すたびに「湯」と「水」が切り替わります。

水（湯）を出したあと、約1分間経過すると、あらかじめ設定してあるモードに自動的に戻ります。

（初期設定は「水」になっています。）

【表示の色】

青：水が出ます。

赤：湯が出ます。

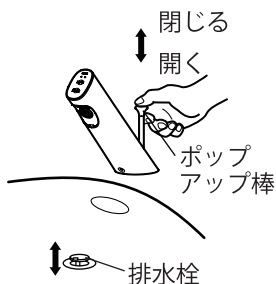
### 【「湯」「水」設定モードと設定方法】

湯水切替スイッチを3秒以上長押しすると表示の色が変わり、モードが切り替わります。

※設定後も、電源プラグを抜いたり停電などで電源が切れると、初期設定の「水」に戻ります。

夏場は「水」冬場は「湯」など必要に応じて設定していただけます。

## 排水栓を開閉する



【ポップアップ付の場合】

ポップアップ棒を上げると排水栓が閉じ、下げると開きます。

## 凍結のおそれがある場合

水栓や配管が凍結すると部品が破損し、漏水の原因となります。  
凍結による破損は、保証期間内でも**有料修理**となります。  
凍結のおそれがある場合や、長期間使用しないときは、急な冷え込みにそなえて、凍結予防を行ってください。

# アクエナジーについて

## 発電のしくみ

内蔵された発電機により、使用時の水の運動エネルギーを電気エネルギーに変換します。この電気エネルギーはコンデンサに蓄えられ、水栓の作動エネルギーとして使用されます。

バックアップ用乾電池としてアルカリ乾電池単 3 形を 4 本使用します。充電は使用しないでください。

## 使用頻度と電池寿命

使用頻度によっては、発電量より消費電力の方が多くなり、バックアップ用乾電池の寿命が短くなる場合があります。

以下の条件でご使用いただければ発電機+バックアップ用乾電池で約 10 年間電池交換が不要です。ただし、代表値であり保証値を表すものではありません。

使用流量	1 回あたりの 使用時間	周囲環境温度	最低使用回数
2.5L/分	5 秒	25℃	25 回以上 / 日

### 【設定条件】

※最低使用回数は均等な時間間隔で使用した回数で算出しました。

※土日祝日などで使用されない場合を考慮すると電池寿命は変動します。

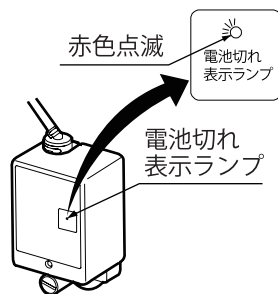
## バックアップ用乾電池交換のお知らせ

センサーを感知させても吐水しない場合は電池切れのおそれがあります。

### 【電池切れの確認方法】

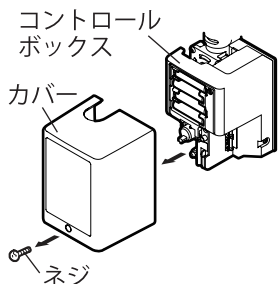
コントロールボックスの電池切れ表示ランプが赤色点滅 (4 秒に 1 回の間隔) している場合は電池交換が必要です。

赤色点滅は、電池切れ後、約 1 週間続きます。赤色点滅しない場合でも正常に作動しないときは電池切れの可能性あります。電池交換をしてください。



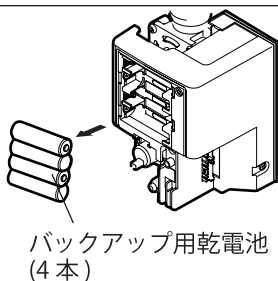
水栓の使用頻度によっては 10 年以上電池の寿命がもつ場合がありますが、その場合でも液漏れなどの可能性があるため、10 年以内で乾電池の交換をお願いします。

## バックアップ用乾電池の交換方法

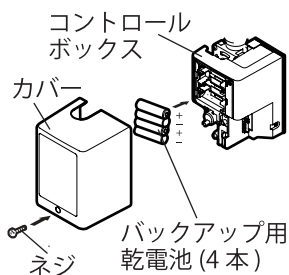


1. プラスドライバーでコントロールボックス前面にあるネジを外し、カバーを外す。

コントロールボックスの内部に水が入らないように注意してください。ネジは専用のもので、必ず付属のものをご使用ください。



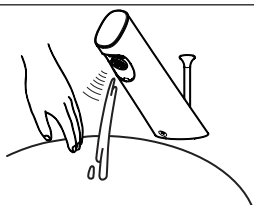
2. バックアップ用乾電池を外す。



3. 新しいバックアップ用乾電池をプラスマイナスの表示を確かめて取り付ける。

電池はアルカリ乾電池単3形を4本を使用します。新旧、異種の乾電池を混用しないでください。

4. カバーを取り付け、ネジで固定する。  
断線のおそれがあるため、コードを挟みこまないようにしてください。



5. センサーに手をかざして水が出るか確認する。

電池を入れてから約30秒後にセンサーが反応し水が出ます。



# 日常のお手入れ

いつまでもご愛用いただくために、普段のお手入れは次のことに注意してください。

## 布などを使用したお手入れ

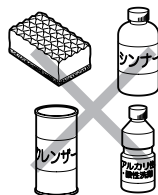
- 汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を含ませた布で拭き取り、その後水拭きしてください。
- 水栓の裏側や狭い隙間などは、30cm程度の薄い布の両端を持ち左右に動かしながら拭き取ってください。
- お手入れ後は、水滴や汚れ、洗剤を残さないように、から拭きしてください。

### 重要

商品の表面を傷めるおそれのある以下のものは使用しないでください。

- クレンザー、磨き粉などの粒子を含んだ洗剤
- 酸性洗剤、塩素系漂白剤、アルカリ性洗剤
- 研磨粒子入スポンジ、ナイロンたわし、ブラシなど
- シンナー、ベンジンなどの溶剤

※ヒビ割れや変形、変色、故障、性能劣化の原因となります。



### 【センサー部】

- センサーに水滴が付いていたら、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
- センサーに直接水または洗剤をかけないでください。  
※誤作動や破損、故障の原因となります。
- ナイロンたわし、ステンレスたわし、メラミンフォーム、ブラシなどは使用しないでください。  
※センサーにキズがつくと、正常に作動しなくなるおそれがあります。

### 【センサー部以外の部分】

- メラミンフォームをご使用の際は、こすりすぎるとキズがつくことがありますのでご注意ください。
- 壁面のタイルなどをカビ取り剤などで洗浄した場合は、タイルおよび水栓を十分水洗いしてください。
- 着色されたうがい薬などが商品に付いた場合は、商品表面の変色の原因となりますので、すぐに水洗いしてください。

変色やキズがついてしまった場合は、取付店（または販売店）またはLIXIL 修理受付センターへお問い合わせください。

### 水の出口の掃除

水の出口は、常に清潔な状態を保つように心がけてください。ご使用中のはね返りや食材が水の出口に付着し、汚れる場合があります。清潔な歯ブラシなどでこまめに掃除をしてください。

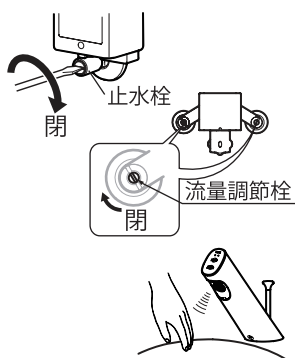
# 定期的なお手入れ

長くご使用いただくために定期的なお手入れをおすすめします。お手入れのときに異常を見つけた場合は、取付店（または販売店）または LIXIL 修理受付センターへ修理をご依頼ください。

また漏水している場合は、修理を依頼される前に止水栓または元栓を閉めてください。

## センサーの掃除

センサーの反応が悪いと感じた場合は、センサーの表面が汚れている可能性があります。以下の手順で掃除してください。

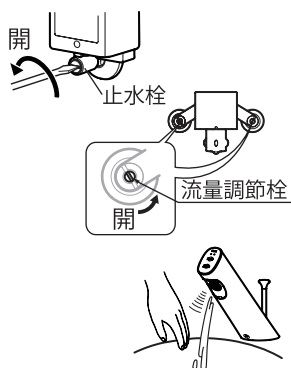


1. 止水栓（流量調節栓）を矢印の方向いっぱいにもわす。

2. センサーに手をかざして、水が止まったことを確認する。

水を止めないで作業するとセンサーが反応して水が出て、作業しにくくなります。

3. よく絞った柔らかい布でセンサーの表面を拭く。



4. 止水栓（流量調節栓）を矢印の方向へまわす。

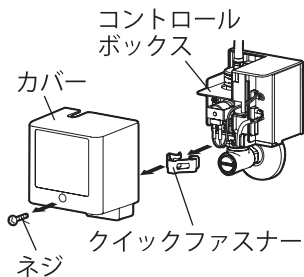
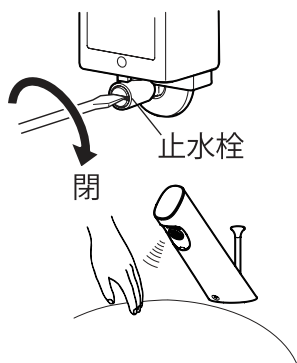
定流量弁を取り外している場合は、流量を調整してください。(P.37)

5. センサーに手をかざして水が出ることを確認する。

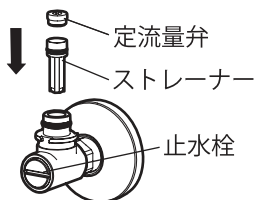
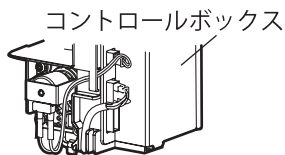
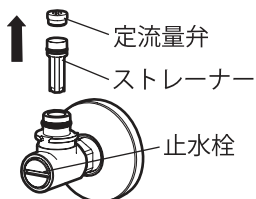
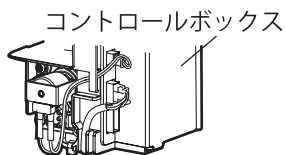
## ストレーナーの掃除

流量が少なくなったり、水の出方が乱れる場合は、ストレーナーにゴミが詰まっている可能性があります。以下の手順で掃除をしてください。

### ●単水栓の場合



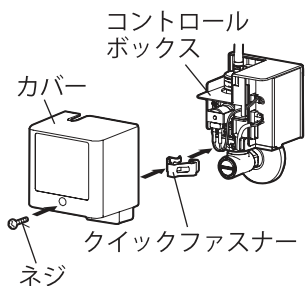
1. マイナスドライバーなどで止水栓を矢印の方向いっぱいにもわす。センサーに手をかざして、水が止まったことを確認する。
2. プラスドライバーでネジをはずし、コントロールボックスのカバー、クイックファスナーを取り外す。



3. コントロールボックスを上方向へ持ち上げ、定流量弁、ストレーナーを取り出したあと、歯ブラシ等を使ってストレーナーのゴミなどを洗い流す。

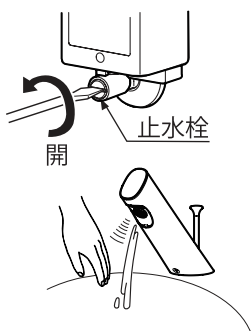
このとき、水が落ちますので、止水栓の下に雑巾などを置いてください。定流量弁を紛失しないようにしてください。

4. ストレーナー、定流量弁を元に戻し、コントロールボックスを取り付ける。



5. クイックファスナーを取り付け、カバーをかぶせ、ネジを取り付ける。

クイックファスナーが確実に取り付けられていることを確認してください。誤って取り付けると漏水の原因となります。

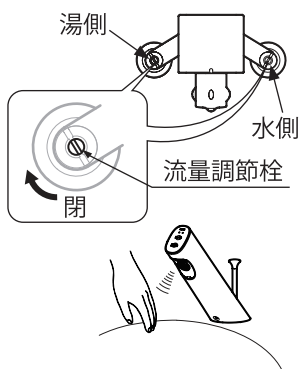


6. 止水栓を矢印の方向いっぱいにもわす。

定流量弁を取り外している場合は、【最適流量の目安】(P.5)を参考にセンサーに手をかざして水を出しながら、止水栓で流量を調整する。

7. センサーに手をかざして水を出し、水漏れしている箇所がないか確認する。

## ●サーモスタット付の場合

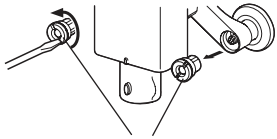


1. 湯側、水側の流量調節栓(2箇所)を矢印の方向いっぱいにもわす。センサーに手をかざして、水が止まったことを確認する。



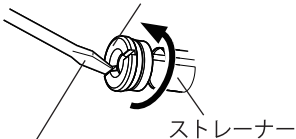
### 【湯水切替スイッチ付の場合】

湯水切替スイッチで湯に切り替えて湯を、水に切り替えて水を、それぞれセンサーに手をかざして、止まったことを確認する。



ストレーナーホルダー

ストレーナーホルダー

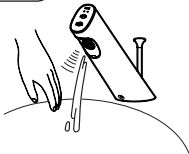
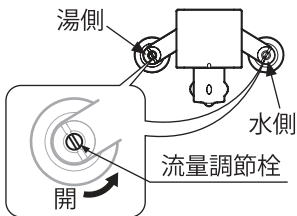


ストレーナー

マイナスドライバー

2. マイナスドライバーで流量調節栓外側のストレーナーホルダーを矢印の方向にまわして取り外し、ストレーナーのゴミなどを洗い流す。

このとき、水が落ちますので、流量調節栓の下に雑巾などを置いてください。



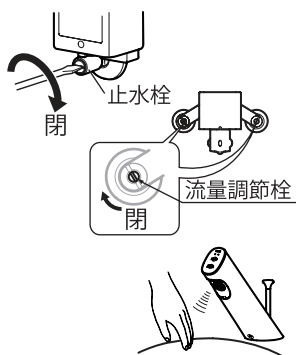
3. ストレーナーホルダーを逆方向にまわして取り付け、流量調節栓を矢印の方向にまわす。

定流量弁を取り外している場合、【最適流量の目安】(P.5)を参考にセンサーに手をかざして水を出しながら、流量調節栓で流量を調整する。

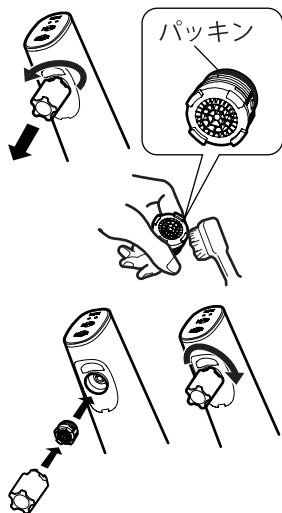
4. センサーに手をかざして水を出し、水漏れしている箇所がないか確認する。

## 泡沫口の掃除

流量が少なかったり、水の出が乱れてきてストレーナーの掃除 (P.27) をしても解消されない場合は、泡沫口のゴミづまりが考えられます。次の手順で掃除をしてください。



1. 止水栓 (流量調節栓) を矢印の方向いっぱいになわす。
2. センサーにかざして、水が止まったことを確認する。
3. 排水口の中に部品を落とすおそれがあるため、排水口の上にタオルや洗面器などを置く。

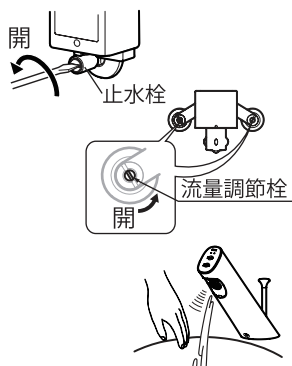


4. 付属の泡沫口取外工具で泡沫口を矢印の方向になわして取り外し、ゴミなどを洗い流す。

泡沫口のパッキンを傷つけないよう注意してください。

5. 泡沫口取外し工具で泡沫口を矢印の方向へ止まるまでまわし、取り付ける。





6. 止水栓（流量調節栓）を矢印の方向へまわす。

定流量弁を取り外している場合は、流量を調整してください。（P.37 参照）

7. センサーに手をかざして水が出ることを確認する。

## 水まわりの漏水（年2回以上）

洗面台やキッチンキャビネット内の水まわりの漏水がないか点検してください。

見えない部分は特に注意が必要です。

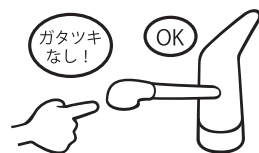
劣化・摩耗などで部品が破損し、ケガをしたり、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



## 水栓本体のガタツキ（年2回以上）

水栓本体のガタツキがないかを確認してください。

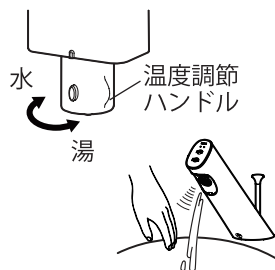
水栓本体にガタツキがあるままご使用になると、配管に負担がかかり、漏水の原因となります。



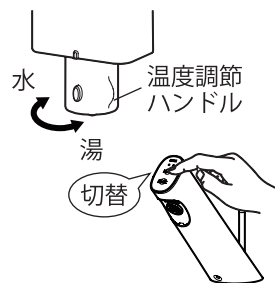
## 温度調節ハンドルのお手入れ (月1回)

温度調節ハンドル内の部品の固着を防ぐため、定期的に温度調節ハンドルをまわしてください。

【スイッチなし、手動スイッチ付の場合】  
温度調節ハンドルを水側にまわして水を出したあと、温度調節ハンドルを湯側にまわして湯を出してください。最後に温度調節ハンドルを希望温度に調節してください。



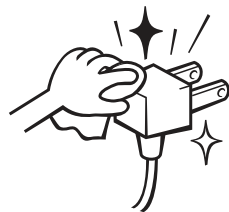
【湯水切替スイッチ付の場合】  
設定が「水」になっている場合は、湯水切替スイッチで「湯」にして湯を出してください。設定が「湯」になっている場合は、切替スイッチで「水」にして水を出してください。最後に希望の設定に元に戻してください。



## 電源プラグの掃除 (月1回以上)

電源プラグに付いたホコリを取り除いてください。

電源プラグにホコリなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。



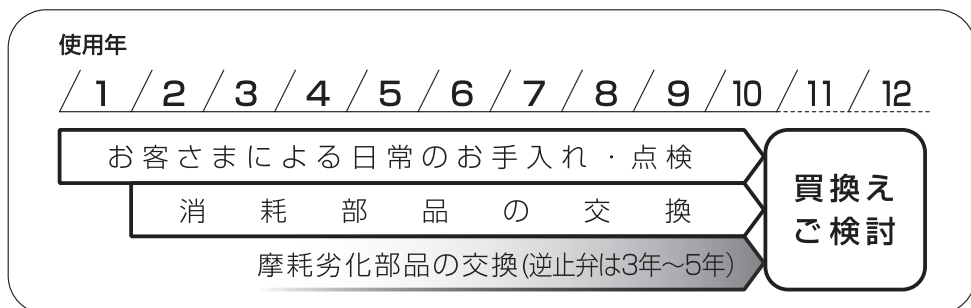
# 定期的な部品交換のお願い

安全・快適にご使用いただくため定期的な部品交換が必要です。取付店（または販売店）またはLIXIL修理受付センターへ修理をご依頼ください。  
※部品交換の際は、商品状況により摩耗箇所以外の部品交換も必要な場合があります。

## 摩耗劣化する部品の交換

- 部品が摩耗・劣化すると漏水などの原因となるため交換が必要です。  
※保証期間外の各部品交換は、**有料**になります。
- 摩耗劣化する部品の例（水栓の種類によって異なります）  
例）逆止弁、ハンドル、ハンドシャワー、シャワーホース、ソケット部、バルブ部（シングルレバーカートリッジなど）、パッキンなど

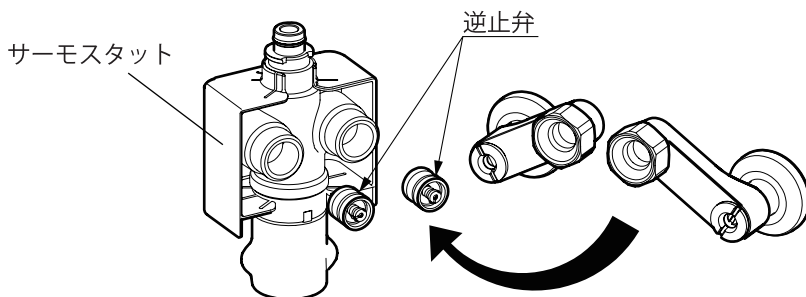
## 〈定期的な点検・部品交換のめやす〉



## 【サーモスタット付の場合】

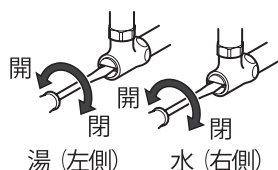
**逆止弁は3～5年を目安に交換してください。**

逆止弁が正常に機能なくなると、水が逆流するおそれがあります。また漏水など予期しない不具合の原因となります。



# 修理を依頼される前に

製品以外の不具合、ならびに製品以外に起因する当該製品の不具合については、保証対象外となります。



漏水している場合は、水側と湯側の止水栓を閉めてください。

その後、「アフターサービスについて」をご参照いただき、修理を依頼してください。

※止水栓の形状は機種によって異なる場合があります。

水が止まらない		
センサーの表面が汚れていませんか？	センサーの表面が汚れていると誤作動を起こす可能性があります。汚れを柔らかい布で拭き取ってください。	P.24
センサー近辺に障害物はありませんか？	センサーの感知範囲にある障害物を取り除いてください。	—
取付可能な洗面器以外と組み合わせていませんか？	洗面器を感知している可能性があります。取付可能な洗面器と組み合わせてください。	—

高温の湯しか出ない		
水側の流量調節栓は十分開いていますか？	「流量調節栓による流量調整」をご参照いただき、流量を調整してください。	P.39

湯にならない		
給湯器の設定温度は希望の温度より低いもしくは同じくらいになっていませんか？	サーモスタット混合水栓は、湯水を混合して吐水温度を調節しています。給湯温度は50℃以上 60℃以下に設定してください。	—

湯にならない		
湯側の流量調節栓は十分開いていますか？	「流量調節栓による流量調整」をご参照いただき、適温になるように湯側、水側の流量を調整してください。	P.39
	上記で改善しない場合は、「湯にならないときの調整方法」をご参照いただき、調整してください。	P.44

水が出ない		
止水栓または流量調節栓は湯側、水側ともに十分開いていますか？	「止水栓による流量調整」または「流量調節栓による流量調整」をご参照いただき、流量を調整してください。	P.37
断水中ではありませんか？	回復するまでお待ちください。	—
コンセントは通電していますか？	停電ではないのに通電していない場合は、ブレーカーを確認してください。停電の場合は手動でご使用ください。	—
電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。	—
バックアップ用乾電池が正しくセットされていますか？	正しくセットしてください。(乾電池を取り付けてから水が出るまでに約30秒かかります。)	P.23
センサーの表面が汚れていませんか？	センサーの表面が汚れていると誤作動を起こす可能性があります。柔らかい布で拭き取ってください。	P.24
手以外のものをセンサーにかざしていませんか？	透明なガラス・プラスチック製品、ステンレス製及びめっきを施したものの、黒に近い色のものは、感知しなかったり、感知距離が短くなったりします。 手動スイッチをご使用いただくか、感知範囲内に手をかざしてご使用ください。	P.18
ストレーナーや散水板にゴミが詰まっていますか？	ストレーナーや散水板にゴミが詰まっている場合は取り除いてください。	P.27

水が出ない		
センサーコードがコネクタにしっかりと差し込まれていませんか？	コードをコネクタに差し込んでください。	—

流量が少ない		
水圧が低くないですか？	定流量弁を取り外し、止水栓または流量調節栓にて流量を調整してください。	P.5
減圧弁付きの電気温水器と組み合わせていませんか？	定流量弁を取り外し、止水栓または流量調節栓にて流量を調整してください。	P.5

流量が多い		
定流量弁が取り外されていませんか？	定流量弁を正しく取り付けてください。定流量弁を取り付けて流量が少なくなる場合は、取り外した状態で止水栓または流量調節栓で流量を調整してください。	P.27

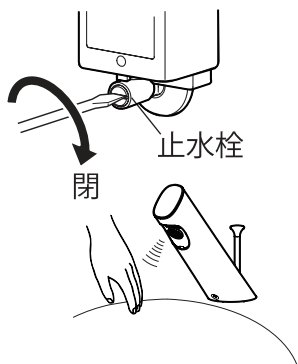
泡沫口根元から水が漏れる		
泡沫口がしっかりと締め込まれていますか？	泡沫口をしっかりと締め込んでください。	P.31

以上の確認を行っていただいても問題が解決されない場合は、「アフターサービスについて」をご参照いただき、取付店（または販売店）またはLIXIL 修理受付センターまでお問い合わせください。

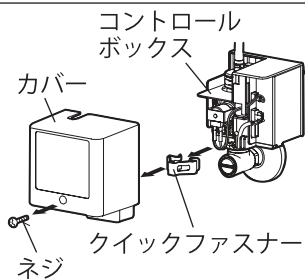
## ●止水栓による流量調整

【単水栓の場合】

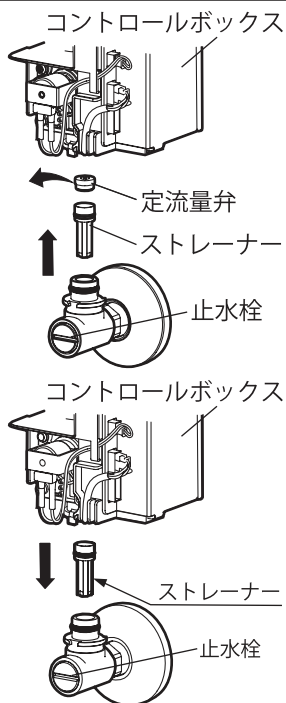
止水栓を全開にします。流量が少ない場合は、以下の手順に従って調整してください。



1. マイナスドライバーなどで止水栓を矢印の方向いっぱいにもわす。センサーに手をかざし、水が止まったことを確認する。



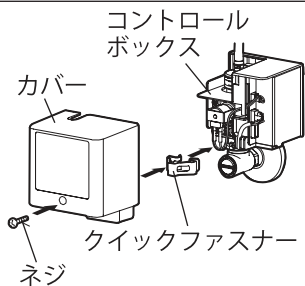
2. プラスドライバーでネジをはずし、コントロールボックスのカバー、クイックファスナーを取り外す。



3. コントロールボックスを上方向へ持ち上げ、ストレーナーと定流量弁を取り外す。

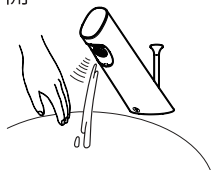
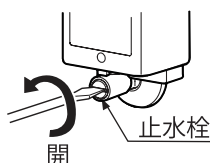
このとき、水が落ちますので、止水栓の下に雑巾などを置いてください。

4. ストレーナーから定流量弁を外し、ストレーナーを元の場所に戻す。



5. コントロールボックスを元に戻し、クイックファスナーを取り付け、カバーをかぶせ、ネジを取り付ける。

クイックファスナーが確実に取り付けられていることを確認してください。誤って取り付けると漏水の原因となります。



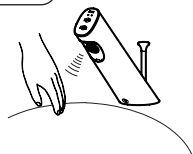
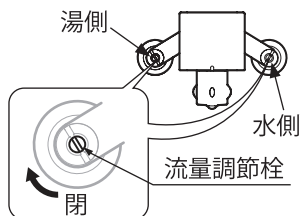
6. 【最適流量の目安】(P.5)を参考にセンサーに手をかざして水を出しながら、止水栓で流量を調整する。

7. センサーに手をかざして水を出し、水漏れしている箇所がないか確認する。

## ●流量調節栓による流量調整

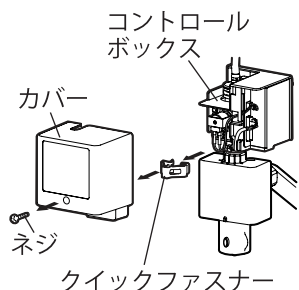
【サーモスタット付の場合】

湯側・水側両方の流量調節栓を全開にします。流量が少ない場合は、以下の手順に従って調整してください。



1. マイナスドライバーなどで湯側・水側両方の流量調節栓を矢印の方向いっぱいまわす。センサーに手をかざし、水が止まったことを確認する。

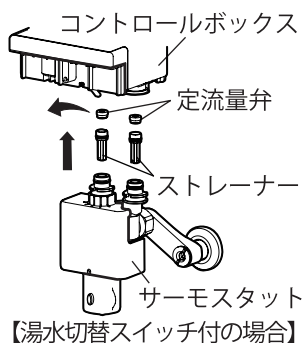
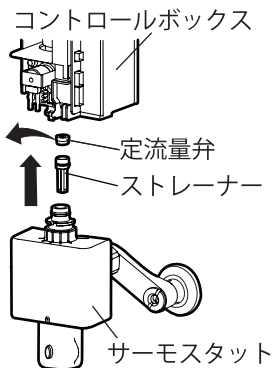




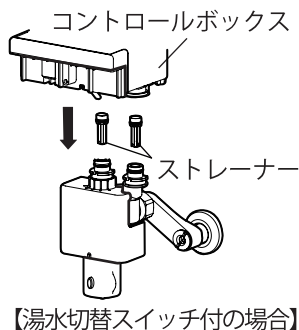
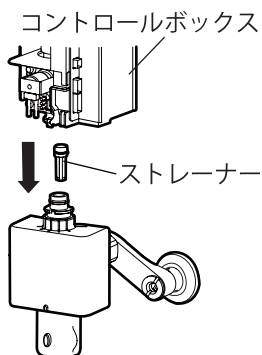
2. プラスドライバーでネジをはずし、コントロールボックスのカバー、クイックファスナーを取り外す。

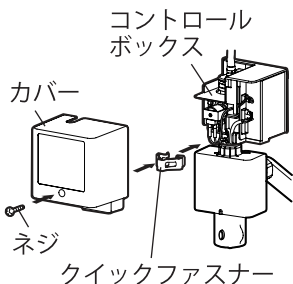
3. コントロールボックスを上方向へ持ち上げ、ストレーナーと定流量弁を取り外す。

このとき、水が落ちますので、サーモスタットの下に雑巾などを置いてください。



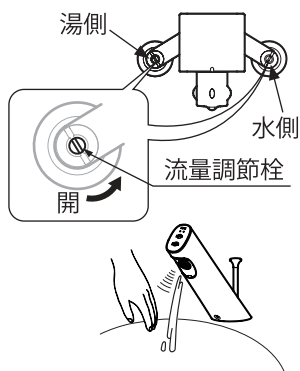
4. ストレーナーから定流量弁を外し、ストレーナーを元の場所に戻す。





5. コントロールボックスを元に戻し、クイックファスナーを取り付け、カバーをかぶせ、ネジを取り付ける。

クイックファスナーが確実に取り付けられていることを確認してください。誤って取り付けると漏水の原因となります。



6. 【最適流量の目安】(P.5)を参考にセンサーに手をかざしながら、流量調節栓で流量を調整する。

7. センサーに手をかざして水を出し、水漏れしている箇所がないか確認する。

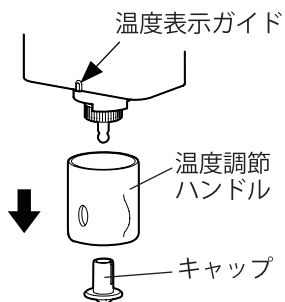
## ●温度調整のしかた

【サーモスタット付の場合】

温度調節ハンドルの温度目盛りと吐水温度が合わない場合は、温度調節ハンドルの調整を行ってください。



1. ハンドルの目盛を気にせず、40°Cの湯が出るように温度調節ハンドルをまわす。



2. 湯を出すのを止め、マイナスドライバーでキャップを外したあと、温度調節ハンドルを回転しないよう注意しながら真下に抜き取る。

3. 温度調節ハンドルの目盛「40」が温度表示ガイドの下に来るように取り付け、キャップをはめ込む。

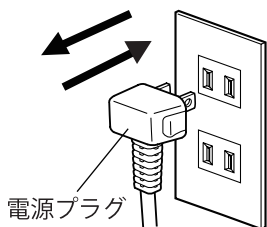
## ●感知距離の再調整方法

感知距離が短いと感じたときは、センサーを掃除してください。(P.24 参照)。解消されない場合は、以下の手順で感知距離の再調整を行ってください。

### 確認

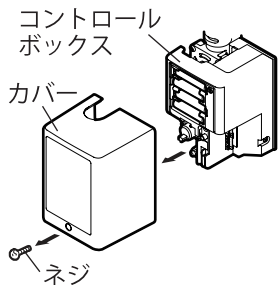
センサーと陶器の間に物を置かないでください。

【電源仕様が100Vの場合】

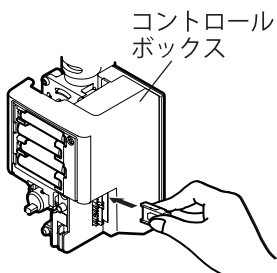


電源プラグを抜き、10秒後に差しなおす。差しなおしたあと、10秒経過すると調整が完了する。

【電源仕様がアクエナジーの場合】

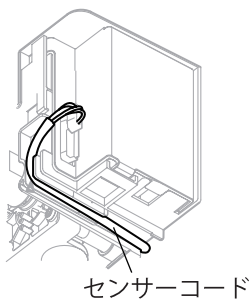


1. プラスドライバーでコントロールボックスの前面にあるネジを外し、カバーを外す。



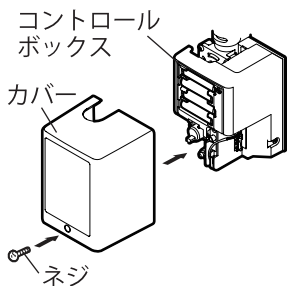
2. センサーコードのコネクター（青色）のピンを指で押さえながら取り外し、再度取り付ける。10秒経過すると調整が完了する。

この間にセンサーを感知させると正しく調整できません。



3. センサーコードを溝部に沿ってはめ込む。

裏側までしっかりはめ込んでください。



4. カバーを取り付け、ネジで固定する。コードを挟み込まないようにしてください。

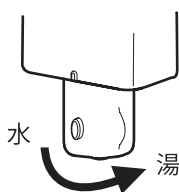
## ●湯にならないときの調整方法

給湯器の温度を 50℃以上 60℃以下に設定して湯側の流量調節栓を全開にしても、低温しか出ない場合は、以下の手順で調整してください。

動画はコチラ！  
※別途通信料が発生する場合があります。

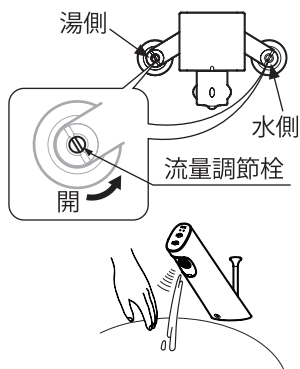


1. 給湯器の温度を低め（45℃以下）に設定する。



2. 温度調節ハンドルを湯側いっぱいまでまわす。

3. 「流量調節栓による流量調整」(P.39)の1～5の手順で定流量弁を外す。



4. センサーに手をかざしながら、湯側流量調節栓、水側流量調節栓の順でそれぞれ水はねが気にならない範囲でできるだけ開ける。
5. センサーに手をかざして水を出し、水漏れしている箇所がないか確認する。
6. センサーに手をかざして、水温を確認する。

# アフターサービスについて

## 1. 修理サービスを依頼される前に

「修理を依頼される前に (P.35)」を確認してください。

### ⚠ 注意

修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造を行わないでください。  
※ケガをしたり、故障・破損のおそれがあります。



## 2. 保証書と保証期間

この商品は、保証書がついています。保証書は、取付店（または販売店）で所定事項を記入してからお渡しいたします。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

**保証期間は取付けの日から2年間です。**

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

## 3. 修理を依頼されるとき

<保証期間中は>

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

<保証期間が過ぎているときは>

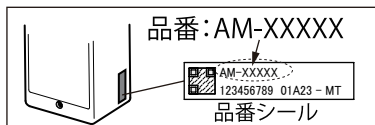
- 修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料にて修理させていただきます。

<修理料金は>

- “技術料+”出張料+”部品代”で構成されています。

<連絡していただきたい内容>

- |                   |           |
|-------------------|-----------|
| 1. ご住所、ご氏名、電話番号   | 2. 商品名    |
| 3. 品番（商品に表示、右記参照） | 4. ご購入日   |
| 5. 故障内容、異常の状況     | 6. 訪問ご希望日 |



※品番は最後まで読みとってご連絡ください。

## 4. 部品の保有期間について

当社は商品の補修用性能部品（商品の機能を維持するために必要な部品）を製造打切り後最低10年保有しています。この**部品保有期間を修理対応可能な期間とさせていただきます。**

保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますのでご相談ください。

## 5. アフターサービスなどについておわかりにならないとき

《修理のご依頼は》

取付店/販売店または LIXIL修理受付センターへ

■WEB サイトからの修理依頼はこちら

※24時間依頼可能



リクシル修理

検索

<https://www.lixil.co.jp/support/>

■お電話でも修理を承ります

受付時間 9:00 ~ 19:00

（ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始などは緊急時のみ対応）

TEL ☎ **0120-179-411**

FAX ☎ **0120-179-456**

《使い方・お手入れ方法など商品に関するお問い合わせは》

■お客さま相談センター

受付時間 平日 9:00 ~ 18:00

土日・祝日 9:00 ~ 17:00

（ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始などを除く）

TEL ☎ **0120-179-400**

FAX ☎ **0120-179-430**

※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP電話などではご利用いただけません。

下記番号をご利用ください。

TEL **0562-40-4050**

FAX **0562-40-4053**

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さまなどの個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。

個人情報の取扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

# 仕様

		単水栓	サーモスタート付
電源	100V タイプ	スイッチなし 手動スイッチ付	AC100V(50/60Hz) 待機時 0.2W 以下、使用時 1.4W 以下
		手動・湯水切替 スイッチ付	AC100V(50/60Hz) 待機時 0.3W 以下、使用時 1.5W 以下
	アクエナジータイプ		主電源：DC7V バックアップ用乾電池：アルカリ乾電池単3形4本
使用圧力範囲		0.05(流動時)～0.75(静止時)MPa	0.05(流動時)～0.75(静止時)MPa 水圧≧湯圧
使用水		水道水および飲料可能な井戸水 (注1)	
使用環境温度範囲		0～40℃ (注2)	
使用環境湿度範囲		90%RH 以下	
適正流量範囲	AM-300系 AM-320系 AM-320H系 AM-330系 AM-330H系	2～3L/分 (2.5L 定流量弁内蔵)	
	AM-310系	3～5L/分 (4L 定流量弁内蔵)	
感知方式		距離測定式赤外線センサー	
感知距離		自動調整 (感知距離自動調整機能内蔵)	
感知エリア幅		φ 10mm	
給水 (給湯) 接続		R1/2	PJ1/2

(注1)： 飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水をいう。

(注2)： 破損する恐れがありますので、凍結する可能性のある場所では使用しないでください。

# 保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、取付店（または販売店）に修理をご依頼ください。

※品番・取付日/ご購入日・お客さま・取付店/販売店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名：オートマージュ自動水栓（品番：）	
保証期間 取付日より2カ年（	取付日/ご購入日 年 月 日
お客さま おなまえ おところ おでんわ （ ） -	取付店/販売店 TEL（ ） -

無効

お客さまへ ・保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。  
・お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

## 無料修理規定（保証規定）

- 「取扱説明書」「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
- 無料修理をお受けになる場合、取付店（または販売店）にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
- ご転居、ご購入品などで、本書に記載の取付店（または販売店）に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
- 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。（免責事項）
  - 用途以外（車両、船舶および使用頻度が極度に高い業務用など）に使用した場合の故障および損傷などの不具合
  - 指定業者や施工説明書などに基づかない施工および工事に起因する不具合
  - お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障および損傷などの不具合
  - 専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
  - 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）など製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
  - 経年変化使用に伴う外観上の現象（塗装の色あせ、もらい錆など）または使用に伴う消耗部品の摩耗などにより生じる不具合
  - 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境および公害環境（煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス）に起因する不具合
  - 小動物（犬、猫、ねずみ、昆虫など）の行為または蔓（つる）や根などの植物の害に起因する不具合
  - 天災地変（火災、爆発など事故、落雷、地震、噴火、風水害、津波、地盤沈下、凍結、雪害など）に起因する不具合による故障および損傷
  - 戦争・暴動などの破壊行為または犯罪などの不法行為に起因する破損や不具合
  - 自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かびなどの現象
  - 消耗品（浄水カートリッジ、パッキン、ヒューズ、電池など）類の消耗に起因する故障および損傷などの不具合
  - 温泉水、井戸水などであって水道法に定められた飲料水の水质基準に適合しない水を給水したことに起因する故障および損傷不具合
  - 寒冷地仕様でない製品の凍結による故障および損傷
  - 給水・給湯配管の錆、砂やごみなどの異物の配管内流入および水あか固着に起因する不具合
  - ガス・電気・給水などの供給で指定された以外の環境（異常ガス圧、異常電源・電圧・周波数、異常電磁波、異常水圧・水质、音、振動など）に起因する故障および損傷などの不具合
  - 保証書の期限切れまたは提示がない場合
  - 本書に取付日/ご購入日・お客さまのお名前・取付店/販売店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、取付店（または販売店）または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
- 修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後10カ年です。

※保証内容はWEB取扱説明書でもご確認ください。なお、予告なく内容や条件を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

商品のお問い合わせはお客さま相談センターまで

TEL ☎ 0120-179-400

FAX ☎ 0120-179-430

受付時間 平日 9:00～18:00

土日・祝日 9:00～17:00

（ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始などを除く）

※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP電話などではご利用できない場合がございます。下記番号をご利用ください。

TEL 0562-40-4050

FAX 0562-40-4053

修理のご依頼はLIXIL修理受付センターまで

■WEB修理依頼はこちら

※24時間依頼可能

■お電話でも修理を承ります

受付時間/9:00～19:00



TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-179-456

<https://www.lixil.co.jp/support/>

株式会社 LIXIL

ホームページアドレス <https://www.lixil.co.jp/>